

医看工芸連携シンポジウム

～医療・福祉機器開発×デザイン×知的財産～

■ 日 時：2017年9月21日（木） 13：30～17：00

■ 場 所：イムズホール（9階）福岡市中央区天神 1-7-11

■ 主 催：一般財団法人九州産業技術センター、国立大学法人大分大学

医療現場でのデザインの重要性、デザインの知的財産としての価値創造、デザインの視点からの今後の医療・福祉の在り方を議論し、技術的な観点から行われている医工連携に看護とデザインの専門家も連携した機器開発（医看工芸連携）の必要性を発信するシンポジウムが開催され、ハイブリッド医療人養成コースより2名の院生が参加しました。

モノ作りに必要なこととして、現場のニーズはもちろんのこと、医療、工学、企業、知財、特許など様々な角度からの視点が重要であることをできた。またデザインの講義、意匠権の講義など興味深い講義が多く、今後もこのような勉強会などがあれば参加したいといった意欲的な感想がありました。

